



高瀬中だより

郡山市立高瀬中学校
2021年7月2日(金)
《第13号》文責:校長 草野 仁

高瀬小中コミュニティ・スクール



～第1回高瀬小中連携事業～

6月25日に高瀬小中コミュニティ・スクール(CS)第1回小中連携事業を実施しました。

今回は、中学校を会場に、小中連携授業研究会とCS地域学校協働活動についての協議を行いました。

高瀬小中CS設置に伴い、学校運営協議会長の馬場様をはじめ、委員の皆様にも参加していただきました。

学校運営協議会委員の皆様からは、教員とは違った視点から、貴重なご意見ご提案をいただくことができました。それらを活かし、高瀬小中CSを基盤とした教育活動の充実に努めていきます。

【CS小中連携授業研究会】

本校の英語と国語の授業を、中学校と小学校の教員がT T (ティームティーチング)で行いました。

高瀬小中CSを基盤とした小中一貫教育の一環として、小学校での学習内容や学習方法を踏まえ、小中9年間を通した「分かりやすい授業」づくりを推進することがねらいです。

今回は特に、小中両校の教育課程に今年度の小中共通の課題として掲げた「伝える力の育成」と「ICT(タブレット端末)の活用」に焦点を当てて授業づくりを行いました。小中教員が事前に教材研究を重ねたことにより、小中学校双方の学習内容や指導方法を活かした授業づくりができました。

《3年2組国語科:杉本先生(中)・佐藤先生(小)》



SDGsをテーマに書いた発表原稿を推敲しました。タブレットを活用して友達の原稿を共有し、構成や主張、根拠の明確さなどを観点に、皆で話し合いながらより良い文章に練り上げました。

《1年1組英語科:石川先生(中)・安部先生(小)》



授業の目標は、英語の物語を聞きとり、3文以上の英作文を書くことでした。

英作文や話し合い等、個別や班での学習活動の双方でタブレットを活用した授業が行われました。

《授業に関する研究協議会》



(国語科研究協議)

(英語科研究協議)

授業について小中教員、学校運営協議会委員による意見交換が行われました。特に、学校運営協議会委員の皆様からは、教員とは異なる視点から授業改善を図るうえで大変参考となるご意見をいただきました。

【授業研究会協議内容概要】【○成果・●課題】

- 人の書いたものをタブレットで共有できるので、皆で考えたり話し合ったりする活動に効果的だった。
- タブレットを用いて原稿だけでなく、説明の根拠となる資料も皆で見ることができると伝える力がつく。
- 生徒同士が話し合いながら解決しようとしていた。
- 本時の流れ、観点が明示され、分かりやすかった。
- 色を使ってラインを引いたり原稿データを比較したりするなど、タブレットを効果的に使っていた。
- タブレットを使う際、個別学習と協働学習での効果を踏まえた使い分けの工夫が必要。
- 英語で進める授業は良かった。理解できていない生徒もいたので、分かっている生徒に説明させてもよかった。
- 英文等の小学校での学習内容、学習方法の確認が必要。
- タブレットで書くことが難しい場合、紙に書いてタブレットで撮影し、データにして共有するとよい。

【CS 地域学校協働活動】

高瀬小中コミュニティ・スクール(CS)では、学校、家庭、地域が一体となって高瀬小中児童生徒の健全育成に取り組めます。

高瀬小中CS第1回小中連携事業では、「高瀬小中CS小中一貫教育」、「SDGsを基盤とした教育活動」、「服務倫理委員会の充実(信頼される学校づくり)」の3分科会において、今年度の協働活動について協議しました。

尚、「SDGs」分科会で話し合われた中学校の職場体験については、今週早速、学校運営協議会委員の皆様を介して高瀬地区の職場体験受け入れ先をいくつか紹介していただくことができました。また、歯科受診率100%を目指した取組に呼応して、今週水曜日には、中学校で昼の一斉歯磨き運動を開始するなど、25日の分科会を受けて活動がスタートしました。

今後も、高瀬小中CS学校運営協議会委員、保護者、地域の皆様のご助言ご協力を得て、高瀬地区の児童生徒の育成はもとより高瀬地区の活性化に多少なりとも貢献できるように活動を推進していきます。

《「高瀬小中CS小中一貫教育」分科会》



「小中一貫教育」分科会では、高瀬小中9年間を通した「分かりやすい授業づくり」と「あいさつができる高瀬の子ども」の育成に取り組めます。

今回は、主に「あいさつ運動」について協議しました。

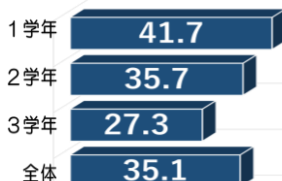
【「小中一貫教育」分科会の主な協議内容】

- 小学生は元気よくあいさつができるが、高学年、中学生になるにしたがってできなくなる傾向がある。
- 中学校では生徒会、規律委員会を中心にあいさつ運動を行っている。あいさつを返してくれない生徒もいるという反省も出ている。
- 「いつでも」「どこでも」「だれにでも」気持ち良くあいさつができる生徒を育てていきたい。
- 小中一貫教育の第一歩として「あいさつ運動」を行い、児童・生徒の実態を見ながら、継続的に運動を行っていくことができればよい。
- 朝の登校指導などPTAと協力して、保護者と学校が協力して進めていく。

《「SDGsを基盤とした教育活動」分科会》



R2高瀬小中歯科受診率(%)



「SDGs」分科会ではG3「虫歯治療受診率の向上(G3)」と「中学校の職場体験の充実(G8)」について協議しました。虫歯治療受診率向上の協議では、小中の学年別受診率が提示される等、具体的なデータをもとに現状の課題が明らかにされました。2学年職場体験については、学校運営協議会を介して、高瀬地区内の地元企業や事業所等を紹介していただくこととなりました。

【「SDGs」分科会の主な協議内容】

- 歯科受診率は小学校が全体で58.9%、中学校は全体で35.1%にとどまっている。
- 小中学校ともに学年が上がるにしたがい受診率が低下している。
- 噛むことが十分にできていない。食育の面からも対応する必要がある。
- 家庭だけでなく、学校や地域でも歯科受診を働きかけていく必要がある。
- 地元の経済、産業を学び、地元で活躍できる人材を育成する観点から、高瀬地区内で職場体験を行いたい。
- 学校運営協議会を介して高瀬地区の職場体験先を紹介していただきたい。

《「信頼される学校づくり」分科会》



「信頼される学校づくり」分科会では、小中学校での服務倫理委員会の取組をもとに、CSの活動を通した信頼される学校づくりの方策について協議が行われました。

【「信頼される学校づくり」分科会の主な協議内容】

- 一般企業でも服務倫理委員会がマンネリ化しているという課題がある。
- コミュニティ・スクールを充実させ、服務倫理委員会の取組を発信するなどして学校と地域で取り組んでいく必要がある。
- 企業等の外部の方に不祥事防止について講義していただく機会があるとよい。
- 学校運営協議会委員の方々に、小中の服務倫理委員会に参加してもらい、外部の視点で意見を頂く。
- 先生方の抱える困りごと等についても協議する。

来週の主な行事予定

曜日	主な内容	学級	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
5日(月)	A5 給食○ 部活○	□薬物乱用防止教室 □AET来校 □18:30完全下校	101	社会	数学	保健	国語	理科
			102	英語	数学	保健	社会	数学
			201	国語	英語	社会	保健	数学
			202	数学	家庭	家庭	保健	英語
6日(火)	B6 給食× 部活○	□1・2年校内体育祭 □弁当持参 □18:00完全下校	101	美術	数学	国語	社会	体育祭
			102	技術	技術	理科	数学	
			201	国語	英語	体育祭	美術	
			202	英語	国語		理科	
7日(水)	B6 給食○ 部活×	□のぞみ祭係り打合 □部活動休養日 □16:30完全下校	301	社会	保健	美術	理科	技術
			302	理科	保健	美術	国語	社会
			101	理科	数学	社会	英語	音楽
			102	国語	社会	英語	数学	高夕
8日(木)	A5 給食○ 部活○	□授業参観(1年:5校時、2年:1校時、3年:3校時) □学年懇談会(1年:放課後、2年:2校時、3年:4校時) □17:30完全下校	201	英語	国語	数学	理科	高夕
			202	社会	理科	音楽	数学	高夕
			301	英語	音楽	国語	数学	高夕
			302	国語	英語	数学	音楽	高夕
9日(金)	B6 給食○ 部活○	□朝の職員打合せ □AET来校 □3年校内体育祭 □生徒会専門委員会15:30 □スクールカウンセラー来校 □18:30完全下校	101	道徳	技術	技術	英語	国語
			102	国語	保健	美術	英語	技術
			201	社会	国語	家庭	家庭	数学
			202	数学	美術	国語	社会	英語
10日(土)	□週休日	□県総体ソフトテニス競技(少年の部)	301	道徳	家庭	社会	理科	体育祭
			302	家庭	数学	理科	美術	
11日(日)	□週休日	□県総体ソフトテニス競技(少年の部)						